



谷原小だより 4月号

平成 25 年 4 月 8 日
練馬区立谷原小学校
校長 眞瀬 敦子

ピッカピカの 1 年生！

校長 眞瀬 敦子

谷原小の新校舎は、今年 1 月から使用が始まりましたので、校舎としてはピッカピカの 1 年生。そこへこれまたピッカピカの 1 年生 89 名が元気に入學してきました。

しっかり成長し、1 学年ずつ進級した在校生に転入生 10 名を加えて、今年度の谷原小は全校児童 536 名 17 学級でスタートしました。

本校の教育理念は、

○よく考える子（知） ○思いやりのある子（徳） ○たくましい子（体）

で表されるように、「知・徳・体」のバランスの取れた子供、そして、豊かな感性をもった子供の育成にあります。

知新学習指導要領には、全教育を通しての言語活動の充実が謳われていますが、本校では平成 20 年度よりあらゆる学習の基礎となる国語教育に力を入れており、昨年度より区の研究指定校として「どの子にも書く力を付ける指導法の研究」を行っています。（11 月 1 日に全都に向けて研究発表を行います）今年度は、毎週木曜日のお昼に「10 分間の作文タイム」を設け、書くことのスキル学習も継続的に行うようにしました。（裏面の時程表参照）

また、週 3 回の朝の読書タイムは、本に親しむ子供を作るだけでなく、朝から落ち着いて学習に向かう雰囲気ができ、大きな成果が上がっていますが、それに加えて、今年度より 5 年間、稲荷山図書館より、火曜日と金曜日の週 2 日、専門の図書館司書が派遣されることになりました。稲荷山図書館との交流もしやすくなりますので、子どもたちの読書活動が更に充実することでしょう。

これらの国語力を付ける指導と、算数少数制指導とを柱にして、子どもたちの基礎学力を高めていきます。

徳本校では特別支援コーディネーターの押方養護主幹を中心に、支援員・相談員・SC を交えた全教員が、必要に応じて家庭支援センターなど、外部組織とも連携を取りながら子供達を見守る体制がしっかりできています。そのお陰で昨年度も一人の不登校もなく、全校児童が健康な学校生活を送ることができました。

教育活動としては、今年も「兄弟学年」を中心に、子供の自己有用感や自尊感情を高める教育を行っていきます。具体的には、昨年からは始まった土曜授業日の朝を兄弟学年で遊ぶ時間とし、全校遠足に向けて仲よし活動を計画的に行っていきます。

その他、中学校・幼稚園・保育園等との交流も更に充実させ、キャリア教育へ繋げていきます。

体昨年度は工事のために校庭が狭くなりましたが、子供達の遊びを保障しようと、休み時間も全教員が校庭・体育館・教室に別れて見守ったため、かえって怪我が減るという素晴らしい結果になり、運動量もある程度確保することができました。今年度も工事の進捗状況に応じて、縄跳びやエアロビクスなど、狭い場所でもできる運動を工夫しながら、子供達の体力の維持・向上に努めていきます。

メインとなる新校舎は完成しましたが、体育館棟の建設はこれからが本番です。更に素晴らしい校舎へと発展していく谷原小。器に負けないよう、子供達の更なる成長に向け、全教職員が一丸となって努力して参ります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今年度もまた本校の教育にご理解ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。